

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	るうと (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	選択活動を取り入れたり、意思決定の機会を設けている。	意思を表出できる方は、それぞれ選択して意見を出したりしているが、そうでない方はアセスメントを行い、趣向や気持ちを汲み取り活動を提供している。個に応じた意思表出の方法を工夫し、支援している。	子どもたちの活動の幅を広げるためにも、一人一人にあった活動を模索する必要がある。また、中高生の事業所なので今後の進路につながるような活動を提供できるようにしていきたい。
2	建物は、バレーボールのコートを一面張れるほどのホールになっており、雨天時でも体を十分に使った活動を取り入れることができる。	発散が必要と感じられる時には、サーキットやトランポリン、ボールを使った活動など建物を有効活用して行っている。	活動内容の幅をもっと広げていきたい。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が肝付町にあるため、市街地の鹿屋市から通う方にはやや遠い。	立地	人員や職員体制が整えられれば、送迎などで対応する事も可能になる。
2	送迎を行っているが、長期休業中は行き届かずに保護者へ協力をいただいている。	放課後は支援学校からの送迎であるため対応が可能だが、長期休業中は自宅からの利用になるため、人員や車の台数が不足してしまう。	人員体制や車の台数が整えば可能になる。
3	社会体験の機会が少ない。	事業所の近隣に社会資源が少ない。	現状を整理し、今ある環境の中で活用できるものがないか探していく。